

差別や偏見のない安心して暮らせる
社会になつて欲しい。
そのために、

正しい知識を身に
つけてください。

特集 B型肝炎

P.5 人権の眼

淡路市社会福祉協議会

P.6 うちの学校紹介します!

塩田小



interview

淡路市在住 池野礼子さん

B型肝炎患者としての経験



2017年岩屋中での患者講義

れました。

感染の判明

結婚し、妊娠した平成元年、医師から「あなたはB型肝炎のキャリアアです」と突然に言われました。助産師さんから「出産のときには、塩素系の漂白剤、汚物を入れるナイロン袋を持ってきてください」「トイレは一番奥を使ってください」「シャワーは最後に使って、使用後は塩素系漂白剤を使って掃除をしてください」等と言われました。他のお母さんとは別の扱いを受け、深く傷つきました。

発症と闘病

36歳の頃、突然首から下が全く動かず、起き上がることもできなくなりしました。まるで大きな石が体の上に乗っているようでした。肝臓の状態をよくするため、何年も、毎日のように注射を打ち続けました。

現在も続く偏見

職探しの際、B型肝炎と告げると6件連続で断られましたし、ようやく決まりましたが、職場でも、「職場でどうしても一緒に働きたくない人がいる」とのことではない人となり、本当にシヨックを受けました。

私の思い

私は、「B型肝炎患者に対する偏見をなくして安心して生活したい」、「私が受けた辛い体験を二度と繰り返してはならない」との

出生と予防接種

私は現在、淡路市に住んでいます。神戸市で生まれ、淡路島で育ちました。

保育所の年長組の頃、遊戯室に集められ、一列に並んで予防接種を受けたことを覚えています。振り返れば、それが原因で、私はB型肝炎ウイルスに感染させられ、人生が大きく狂わさ

しています。



思いで、淡路島の小学校・中学校・高校・大学で、私の体験をお話しさせてもらっています（患者講義といます。）。

この記事を見ていただいた方にも、B型肝炎のことを知っていたら、また、B型肝炎患者のことを一緒に考えていただければ嬉しいです。

もしB型肝炎の裁判のことで悩んでいる人がいれば、左記までお電話いただければ、弁護士が相談に対応いたします。

電話番号：0120-1124-681



じんけんイベント情報のご案内

相手を尊重できる人権感覚は、地域・家庭・職場で互いに信頼し合える関係を築くために、大切なことです。多様な人々と出会い「多様性を尊重できるまちづくり」をめざします。ぜひご参加ください。

●お知らせ●

市民人権課 人権推進係は、
「淡路市役所 1号館 2階」にあります。

■お申し込み・お問い合わせ

淡路市市民生活部市民人権課人権推進係
〒656-2292 淡路市生穂新島8番地
TEL 0799-64-2521 FAX 0799-64-2565

イベント
参加無料

◆人権の集い

開催日時	実施場所	テーマ	講師
12月7日(土) 開場13:30 開会14:00～	淡路市立 サンシャインホール (淡路市浦148-1)	14:00 開会行事 14:15 人権尊重作品表彰式 15:00 記念講演 「これからの子育て 社会のありかた」 ～みなさんの笑顔が満開に～ (落語&トークショー)	落語家 笑福亭松枝さん

◆じんけん市民講座

開催日時	実施場所	テーマ・学習内容	講師
1月16日(木) 14:00～16:00	淡路市役所 2号館3階 大会議室	ひきこもりについての現状、理解や支援方法等	神戸市看護大学 教授 船越 明子さん
2月3日(月) 14:00～16:00		共生を循環させる「いづかしの杜」の取り組み 社会福祉協議会やいづかしの杜の移動販売の取り組みを通じて、地域共生社会を考えます。	淡路市社会福祉協議会事務局長 凧 保憲さん 他 職員2名

◆人権シネマ

開催日時	実施場所	内容	
1月18日(土) 昼の部13:30～ 夜の部18:00～	淡路市立 サンシャインホール (淡路市浦148-1)	映画「くちびるに歌を」(132分) 孤独なピアニストと離島の生徒が奏でる最高の「合唱」。15歳だったすべての人へ。生涯忘れられない、涙の感動作。	監督：三木 孝浩 出演：新垣結衣、 木村文乃、桐谷健太



◆女性のためのチャレンジ相談

開催日	実施場所・開催時刻	内容	相談員
1月21日(火) 3月4日(火)	淡路市役所(各50分) ① 13:30～ ② 14:30～ ③ 15:30～	あなたの一步を応援します！ 再就職、起業など何かにチャレンジしたい女性の無料個別相談です。	キャリアコンサルタント 社会福祉士 浜野 千春さん



淡路市人教管内保育園(所)・認定こども園部会研修会

9月7日、淡路市役所で、高砂市小学校スクールカウンセラー等をされている五百蔵佳代子さんを講師に迎え、「生涯発達の基盤となる『アタッチメント』と『非認知的な心』」について、お話しいただきました。

「0・1歳児のクラス担任をしているので、乳幼児期の愛着がとても大切であることを改めて実感できました。」「子どもにとって、安心感を持ってもらえ存在になりたい、なり続けていきたいと思いました。」などの感想がありました。



県人権教育研究大会淡路地区大会

7月27日、洲本市文化体育館で人権教育の研究・実践の深化と拡充を図るために、島内3市の人権教育研究協議会と学校の関係者などが集まりました。

記念講演では、「あきらめない心」と題し、プロパフォーマーのちゃんへんさんが、ジャグリングショーの後、在日韓国・朝鮮人である自身の生い立ちを話されました。小学生の頃にじめに遭った際、彼の母親が校長に「いじめよりおもいものないからいじめがある。素敵な夢持ってる子はいじめさせへん。」の話が印象的でした。



第1回淡路市じんけん市民講座

9月25日、防災あんしんセンターで淡路市在住の絵本作家、田島征彦さんに「絵本で何が表現できるか」をテーマにご講演いただきました。「じごくのそうべえ」「ふしぎなともだち」「なきむしせいとく」の読み聞かせと共に、「共生」「戦争」等、社会の重要な課題に、全身全霊で向き合い、表現するまでの苦悩や生き様を語っていただきました。

「絵本には人間、社会の変革を促す力があると強く思った。」「絵本で戦争を止める」という強い思いに感動した。自分も何ができるか考えたい。」などたくさん感想が寄せられました。



淡路市小中学校教職員人権研修会

8月27日、防災あんしんセンターで(一社)山口県人権啓発センター事務局長の川口泰司さんを講師に迎え、「ネット人権侵害と部落差別の現状」「寝た子」はネットで起こされる?」と題し、小中学校教職員を対象に講演会を開催しました。

参加者からは、「人権教育の大切さをしっかりと子ども達に指導していかねばいけない」と強く思った。「何が違う。おかしい。」という感覚を育み、「それって本当?誰が言った。」の言葉葉を大切にしたいと思えます。」などの感想がありました。

地域生活多機能拠点いづかしの杜（以下、いづかしの杜）は、障がいのある人の通所施設として、旧仁井保育所を改築して2014年4月に淡路市社会福祉協議会（以下、淡路市社協）が開設しました。

人口減少が続く小規模過疎集落では、運転免許の返納、買い物困難者の増加といった、高齢者を中心に住み慣れた場所ですらでも自分らしく暮らし続けることが少なくなっています。いづかしの杜はこれらの課題に対し、障がいの有無に関係なく、すべての人が役割をもち、活躍できる地域社会をめざすというのが基本的な運営理念です。

現在、いづかしの杜では主な仕事として

- ①お弁当の宅配（事業所や会合向け弁当の配達から、独居高齢者宅等への安否確認を兼ねた戸配）
- ②集落コンビニの運営（日用品の販売と食堂・喫茶の機能を併せ持った店舗。400種以上の食品・日用品を揃え、店舗にない品物の注文にも柔軟に対応）
- ③移動販売（専用の軽トラックで約350種類の食品等を曜日ごとに時間

まなこ
No.73
人権の眼
共生を循環させる
「いづかしの杜」の取り組み

淡路市社会福祉協議会
事務局長 風 保憲

と場所を決め、市内約45ヶ所で販売）を行っています。これらの仕事にはすべて障がいのある人が関わっており、そこから得られる収益は障がいのある人に給料として支払われます。

これらの取り組みの根幹となるのが、淡路市社協が基本理念とする「共生循環型地域社会づくり」です。「共生」を「循環」させるとは、すべての人がお互いの立場や関係性を超え、「助けられたい、助けたり」を相互に行うことを指します。さらに、この関係によって生まれるお互いへの感謝の気持ちは、お互いを理解し合うことにつながります。淡路市社協は「ありがとう」があふれる淡路市をめざして、これからも多様な取り組みを進めてまいります。

ぽわいん
手話 !!
第62回

手話は、ろうあ者が日常使用しているコミュニケーションの方法です。

このコーナーでは、ろうあ者の生活や手話等を紹介します。

『思う・感じる』



右こめかみに右手人さし指をあてる。

ろうあ者の日常生活を知ろう③⑦

音を体感する①

ろう者の家には光で知らせるインターホンが付いていたり、聴者との会話を文字起こししてくれるスマートフォンアプリがあったりと、日常生活の困りごとが改善されています。

音楽の分野でも、音が「体感する」様々な器具が登場しています。

音に反応して光ったり、振動したり、音楽を光と振動で楽しむ音楽装置「サウンド ハグ」(ピクシーダストテクノロジーズ株式会社)がその一つです。形は大きな風船状で、抱きかかえるように直接リズムや振動が伝わる仕組みになっています。また、音程とともに色が変わり、発光し、触覚と視覚で音楽を楽しむことができます。

光と振動で楽しむ音楽装置

※博報堂生活総合研究所 Webマガジン センター ドット【別解が生まれた瞬間】#2を参考

協力：淡路聴力障害者協会 手話サークル津名

2024 人権標語

【小学校低学年の部】

特選	それでいい あなたは あなたのままでいい	石屋小学校 3年	嶋本 圭香
入選	ぼくたちは みんなともだち おおきなわ	浦小学校 1年	池田 龍ノ介
入選	「ありがとう」言ったらしあわせ 聞いたらホッコリ	中田小学校 2年	高瀬 樂
入選	人と人 ささえあえたら 金メダル	一宮小学校 3年	南条 瑛太
佳作	ありがとう ごめんなさいは じぶんから	志筑小学校 1年	藤井 瑠凜
佳作	そばにいる ことばはなくても ほっとする	津名東小学校 1年	篠原 旭
佳作	どないしたん？ 友をたすける あいことば	学習小学校 2年	田村 朱蓮
佳作	一人じめ うれしいのは 自分だけ	北淡小学校 3年	峠 文乃
佳作	みんなのいのちと 人の心は たからもの	志筑小学校 3年	津守 紗希

【高等学校・一般・PTA の部】

特選	いいんだよ 誰かに助けを 求めても	東浦中学校 PTA	春名 はるか
入選	ありがとう わたしの口から 伝えたい	淡路高等学校	山本 充恋
入選	どうしたん？ その一言で 救われる	東浦中学校 PTA	森下 智博



「二人一人が輝く 楽しい学校」

全校生54名の塩田小学校では、学校教育目標「命を大切に、心豊かにたくましく生きる塩田っ子の育成」一人一人が輝く楽しい学校のもと、自他ともに大切に、共に高め合い支え合う、子どもたちの育成をめざしています。児童は、素直で真面目で明朗快活。休み時間には校庭に出て体を動かしています。

校区内には、農業・漁業・住宅の3つの地域があります。農業地域の方には、学校の作物の育て方を教わったり、牛の飼育方法について教えていただいたり、牛の絵を描いたりする際に交流を深めています。漁業地域の方とは、漁協で育成されたヒラメの稚魚放流や漁協近辺の干潟の生き物観察を通して交流を図っています。



5月には、「1年生を大切にする気持ちをもち、進級した自分の果たすべき役割や責任に気付く」をめあてにした、児童会主催の新生歓迎「なかよしウォーク」をワールドパーク ONOKORO で実施しました。現地では、まず縦割り班ごとに集まり、「顔合わせの会」をし、6年生が考えた「なまえリズムゲーム」をしながら、みんな

で自己紹介をしました。午後は、班ごとに「ウォークラリーゲーム」を行い、集合写真を写す等しながら園内を巡りました。低学年の児童は「〇×ゲームで、初めて知ることがあったのでたのしかったです。」6年生は「大変だったけど、1年生を歓迎できたのでうれしかった。」と、それぞれに感想を持ちました。

これからも塩田小学校は、少人数校の利点を生かして、個に応じた教育を心がけ、一人一人が輝く塩田っ子の育成をめざしていきます。

【タテのカギ】

- ①5種の木。特に江戸時代、用材確保のために藩の領主によって伐採を禁じられた木。梅、桃、柳、桑、杉など様々な説がある。
- ②体にくらべて足が短く、尾が細長く、角が2本ある。草などを食べる時、反芻する。
- ③初めは勢いが盛んで、終わりはふるわないこと。「○○蛇尾」
- ④古語で、小さいこと、短いこと、細いこと、少ないこと。「徒然草」でも使われている。
- ⑤うしろ、後部。「○○シート」
- ⑥テープレコーダーなどでテープを早送りしている時に、内容を確認するために押すボタン。
- ⑦法的に婚姻が認められていない同性カップルを婚姻に相当する関係と認める制度。淡路市は令和6年1月に導入しました。「○○○○○シッパ宣誓制度」
- ⑧技能、技量。コミュニケーション能力や知識、教養等でも使われることがある。
- ⑨「一粒○○」わずかなものから多くの利益を得ること。
- ⑩拡大援助計画。「EPTA」と書く。(昔あった国連の機関)
- ⑪○○芋。台湾でスイーツや料理に親しまれる食材。

【ヨコのカギ】

- ①初めはごくわずかな違いでも、最後は大きな違いになってしまうことのたとえ。
- ②配信者。配信でゲーム実況や解説をする人のこと。
- ③秋から冬にかけて短時間振る雨。立冬のあと10日を入液、小雪を出液といい、このころに降る時雨。
- ④五節句の一つ。七月七日の夜、年に一度だけ会うという中国の伝説にちなむ年中行事。
- ⑤一般からつり集めること。
- ⑥夏の次の季節。
- ⑦体は細長くプロペラ飛行機のように横にひろげた二対の羽で空を飛ぶ。「赤○○○」
- ⑧英単語の表記であり「引く」という意味の動詞。
- ⑨サッカーにおいてボールを手で投げてゲームを再開するルール。

クロスワードクイズ

①	②	③オ	④		⑤	
⑫カ					⑬	⑥
				⑦ア		
	⑧				⑨	イ
⑩				⑭	キ	
⑮ウ	エ		⑪			
		⑯				

★7文字(ア～キ)のできる言葉が答えです。

アイウエオカキ運動



ヒント→1994年アメリカで、女性に対する暴力の被害当事者によって生まれた草の根運動です。淡路市でも毎年11月12日～25日に紫色を取り入れ、暴力をなくす啓発をしています。

◆クイズの答え、住所・氏名・年齢(学年)とご意見・ご感想・イラストなどをハガキもしくはQRコードからご応募ください。正解者の中から抽選で図書カードをプレゼントします。



【あて先】〒656-2292 淡路市生穂新島8番地
淡路市 市民生活部 市民人権課 内
クロスワードクイズ 係

【しめきり】2024年12月20日(金)(当日消印有効)

※当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

第72号
の答え

「ジョセイカツヤク」

(女性活躍)

①	②	③	④		⑤
イ	カ	ナ	ゴ		ウセ
⑬	イ			⑥	⑦
ヤ	ヨ	イ		ス	マ
⑭			⑧		⑩
シ	フ		ハ	マ	カツ
⑮		⑬	ク		⑯
イ	チ	ジ	ク		バウ
			⑰	⑩	
	ド		サ	ワ	ラ
⑨			⑱	オ	⑪
ウ	リ		イ	カ	ホ
		⑲		⑲	
シ		タ		メ	ゲル

2024 人権ポスター・標語入賞作品

(応募総数 ポスター 538 点・標語 4,131 点)

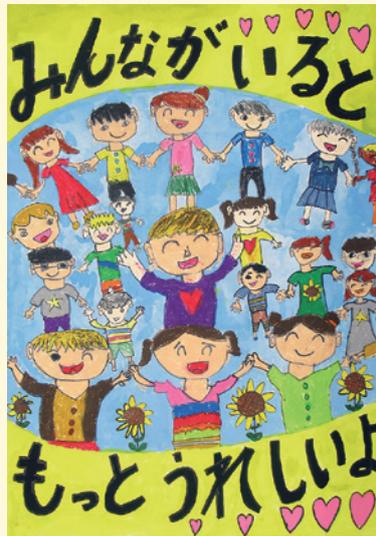
9月12日、淡路市役所で「人権尊重ポスター」と「人権標語」の作品の審査を行いました。

※人権標語入賞作品は P6 に掲載

入賞作品は本紙に順次掲載するほか、下記展示会場で展示します。また、「人権を考える集い」で表彰式を行います。

日付	会場
10月5日 ～10月14日	津名図書館
10月17日 ～10月28日	岩屋公民館
10月30日 ～11月17日	淡路文化会館
11月19日 ～11月28日	北淡公民館
12月4日 ～12月7日	サンシャインホール
12月7日「人権 を考える集い」	

小学校低学年の部



特選

そわ ふうか
岨 楓香 (大町小3年)



入選

きたさか ひかり
北坂 日香葉 (志筑小1年)



入選

おおとり そら
大鳥 颯浪 (志筑小3年)



佳作

かわぎ かりん
柏木 風凜 (津名東小2年)



佳作

もり はなこ
森 華子 (北淡小2年)



入選

なかお ひまり
中尾 向葵 (中田小2年)



佳作

たんぼ いちと
丹羽 一翔 (中田小2年)



佳作

やまさき だいき
山崎 大揮 (一宮小3年)



佳作

ひぐち はるか
樋口 はるか (石屋小1年)